

ここは、
いつも心が
帰ってくる場所——



海のふた



菊池亜希子

三根梓

小林ユウキチ

天衣織女

鈴木慶一

原作◎よしもとはなな『海のふた』中公文庫

監督◎豊島圭介

脚本◎黒沢久子

挿入歌◎原マサ『はじまり色』

企画協力◎よしもとはなな事務所／中央公論新社

制作◎海のふた製作委員会

（パシフィックシネマテリヤ）／シネマトゥワン／ソニーピクチャーズ・ディストリビューション／ソニー・ピクチャーズ・エンタテインメント／フィルム・メディア・ネットワーク／ソニー・ピクチャーズ・エンタテインメント

（2015）日本カンパニー／株式会社（K&S）／oparts

©2015 K&S / 海のふた製作委員会

unihofuta.com

故郷の海辺の町で、

自分らしく生きる道を探す

女の子たちのひと夏の物語。



かつては観光地として栄えていた
海辺の町を舞台に、
かき氷の店を開くために帰郷した“まり”と
大切な人を亡くした“はじめちゃん”。
自分らしく生きる道を探す2人の
心の交流を描いたひと夏の物語。

よしもとばななの同名小説、待望の映画化！

原作はよしもとばなな初の新聞小説として2003年11月～2004年5月まで連載されていた「海のふた」。版画家・名嘉睦稔との初のコラボレーションでも話題を呼んだ。伝説的なインディーズ・ミュージシャン、原マスキの名曲にインスパイアされたこの小説は、よしもとばななが毎年夏に家族で訪れ続けてきた西伊豆の海辺の町が舞台となっており、本作の撮影も土肥で行い、都会に住む人々の心に癒しをもたらす映画に仕上がった。

主演は、編集長を務めるムック本「マッシュ」は累計27万部を超えるヒットとなり、自らのカルチャーを確立、おしゃれ好きの男女から絶大な人気を誇る菊池亜希子が、都会を離れ生まれ故郷でかき氷のお店を開いて、新しい人生を踏み出そうとする主人公・まりを演じ、原作の世界観そのままに体現している。さらに、2012年に映画「シグナル-月曜日のルカ」で初主演を果たした三根梓が、顔に火傷の痕が残り心に傷を抱えている女性“はじめちゃん”を演じ、難しい役どころに挑戦している。近年、テレビや雑誌でも特集が組まれ本格的ブームの兆しがみられるかき氷。まりが作るかき氷は「真冬でも行列のできるかき氷屋」で話題の“梵庵”石附浩太郎が監修している。一般的なかき氷のイメージとは違い、糖蜜とみかん水という、こだわりのかき氷が登場する。心にしみいるかき氷の甘さが、次第にみんなの心の氷を溶かしていく。

◎ STORY ◎

ふるさと西伊豆の小さな町は、海も山も人も寂れてしまっていた。実家に帰ったまりは、ささやかな夢と故郷への想いを胸に、大好きなかき氷の店を始めることにした。糖蜜とみかん水、そしてエスプレッソ。自分がいいと思うものしかメニューにはしないつもり。そしてこの町にやってきた大切な人を亡くしたばかりのはじめちゃんと一緒に…。

菊池亜希子

三根梓 小林ユウキチ 天衣織女 鈴木慶一 羽場登子 吉岡睦雄 平澤宏々路 重田裕友樹
 原作:よしもとばなな「海のふた」(中公文庫) 監督:豊島圭介 脚本:黒沢久子 主題歌:蘭華「はじまり色」 挿入歌:原マスキ「海のふた」(アルバム「人間の秘密」より)
 音楽:宇波拓 かき氷指導:梵庵 石附浩太郎 企画協力:よしもとばなな事務所/中央公論新社 製作:川城和実 小林栄太郎 小西啓介 武田智哉
 企画・プロデュース:越川道夫 プロデューサー:西川朝子 狩野直人 佐藤正樹 撮影:戸田義久 照明:山本浩賢 美術:古積弘二 音響:菊池信之 衣装:宮本まき江
 ヘアメイク:橋本中二 特殊造型:百武朋 編集:菊井貴繁 助監督:瀬戸慎吾 制作担当:雲井成和 アシスタントプロデューサー:神林理央子
 制作プロダクション:スローラナー 製作:「海のふた」製作委員会(バンダイビジュアル/テンカラット/ファントムフィルム/アサツー ディーケイ)
 配給・宣伝:ファントムフィルム 【2015/日本/カラー/84分/ビスタ/DCP5.1Ch】 ©2015 よしもとばなな/「海のふた」製作委員会

「私の第二のふるさと土肥が美しく撮られていて、いつも家族で歩いた場所ですばらしい人たちが真摯に演技をしている、それだけでもう幸せ！」
よしもとばなな



海のふた

uminofuta.com

